



インターナショナル新書

亜宗教

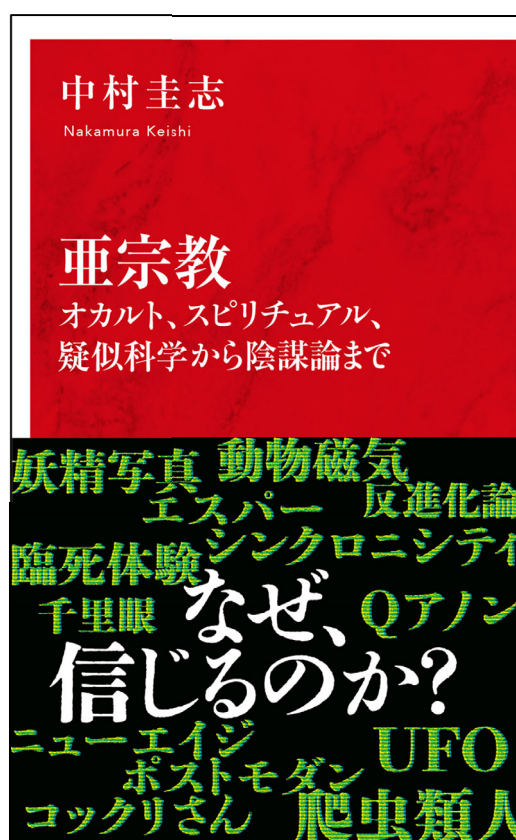
オカルト、スピリチュアル、疑似科学から陰謀論まで

著 中村圭志（宗教研究者） 4月7日（金）発売！

宗教研究者が、 人間の妄想力 を暴き出す!!

* あ-しゅう-きょう 【亜宗教】

近現代に生まれた、非科学的で
宗教めいた信念や言説。



宗教研究者・中村圭志^{なかむらけいし}が「オカルト・スピリチュアル・疑似科学・陰謀論」といった亜宗教（著者による造語）を、宗教学の知見から分析する。

扱うのは、妖精写真、コックリさん、動物磁気、千里眼、念写、モンキー裁判、UFO、ニューエイジ、エスパー、臨死体験、シンクロニシティ、爬虫類人、Qアノン、反ワクチンなどなど……。

信仰と科学の狭間で^{うごめ}蠢く人間の“妄想力”の歴史をたどり、「人間にとって信仰とはなにか」を暴き出す。

●定価：1,056 円（10%税込） ●体裁：新書判／304 ページ

●発行：集英社インターナショナル ●発売：集英社 ●ISBN：978-4-7976-8121-5

【はじめに（一部抜粋）】

本書では、便宜的に、近現代に生まれた非科学的で宗教めいた信念や言説を「**亜宗教**」と呼ぶことにする。（中略）昔の流行現象は珍妙にも思えるが、現代の我々だって多少話を複雑化しているだけで、やっていることにさしたる進歩はない。だから、19世紀の千里眼騒動からも、20世紀初頭の進化論裁判からも、20世紀後半のヒッピー文化や、観念的な言葉に溺れて自滅したポストモダン言説からも、教訓を得ることができる。

歴史旅行を楽しみながら、これをやってみようというのが、本書の試みである。

【目次】

・序章 宗教と科学の混ざりもの

▼第1部 西洋と日本の心霊ブーム 19→20世紀

- ・第1章 19～20世紀初頭の心霊主義
- ・第2章 コックリさんと井上円了の『妖怪学講義』
- ・第3章 動物磁気、骨相学、催眠術——19世紀の(疑似)科学
- ・第4章 明治末の千里眼ブームと新宗教の動向
- ・補章 伝統宗教のマジカル思考

▼第2部 アメリカ発の覚醒ブーム 20→21世紀

- ・第5章 ファンダメンタリストとモンキー裁判
- ・第6章 UFOの時代——空飛ぶ円盤から異星人による誘拐まで
- ・第7章 ニューエイジ、カスタネダ、オウム真理教事件
- ・第8章 科学か疑似科学か?——ESP、共時性から臨死体験まで
- ・終章 陰謀論か無神論か? 宗教と亜宗教のゆくえ



中村圭志（なかむら・けいし）

1958年、北海道生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学（宗教学・宗教史学）。昭和女子大学非常勤講師。

単著に『信じない人のための〈宗教〉講義』（みすず書房）、『教養としての宗教入門』『聖書、コーラン、仏典』『宗教図像学入門』（いずれも中公新書）、『教養として学んでおきたい5大宗教』『教養として学んでおきたい聖書』（ともにマイナビ新書）ほか多数。

著者、取材対応（対面／リモート）可能です！

ぜひ貴媒体にてご紹介をご検討いただけますと幸いです！

【本書のお問い合わせ先】

編集担当：集英社インターナショナル 出版部

電話 03-5211-2630 公式サイト <https://www.shueisha-int.co.jp/>